

1997年 (平成9年) 4月1日号

No.721

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号



演出/大森一樹(映画監督) 撮影/山口宏(写真家)



復興へ! 芦屋ビール誕生

ASHIYA FIGHTビール

商店街ににぎわいを、まちに活気を取り戻そうと商工会・商店連合会・市の3者で構成する芦屋市商業活性化対策協議会が企画した芦屋ブランドのビール。5日・6日に開催される「芦屋さくらまつり」でも発売します。限定3000ケース(72,000本)ですので、お早めに…。(下段に関連記事)

南芦屋浜埋立地の町名決まる

本紙一月一日号で南芦屋浜埋立地の町名を募集したところ、二百五十七人、八百七町名の応募をいただき、ありがとうございました。

有識者等十人で構成する町名選考委員会で候補を選び、三月市議会の議決を経て、埋立地四地区の町名が決定されました。それぞれの町名および選考理由は次のとおりです(左図参照)。

- ① 陽光町(ようこうちょう) ↓この地区は南芦屋浜の玄関口にあたり、復興住宅もあるため、それにふさわしい明るさを感じる名前がよいとの理由による
- ② 海洋町(かいようちょう) ↓外洋に向かったマリナーのある地区にふさわしいとの理由による
- ③ 南浜町(みなみはまちょう) ↓人口ピーチ等がある海辺のイメージにふさわしく、応募件数も圧倒的に多い(二十八件)ことによる
- ④ 涼風町(すずかぜちょう) ↓海に面し、起伏のある良好な住宅地であり、緑のなを涼しい風が通るこの地区にふさわしいとの理由による

決定されたそれぞれの町名を応募いただいたかたのなかから抽選の結果、

- 楠本嘉正さん(西宮市在住)、北川孟史さん(若葉町在住)、河野明人さん(東山町在住)、村田美代子さん(若葉町在住)に、記念品を贈呈させていただきました。

▼問い合わせ
都市計画部総務課
☎2070



市内消費向上キャンペーン ASHIYA FIGHT BEERで乾杯!

震災後3年目を迎え、市内の商店は約8割が営業を再開しました。しかし、人口の減少等から市内消費は落ち込み、商店街等のにぎわいはまだ戻っていません。

芦屋市商業活性化対策協議会(会長・小田脩造商工会会長)では、芦屋小売酒販組合芦屋分会の協力を得て、このほど「ASHIYA FIGHT」ビールを発売しました。

これは市内消費向上キャンペーン「Re-ASHIYA」の一環として、芦屋のまちの活性化を広く市内外にアピールしていくものです。

「ASHIYA FIGHT」ビールで、まちに元気を!(市内酒販店でお求めください。)



問い合わせ
芦屋市商業活性化対策協議会 ☎23-2071

県生活復興資金の貸付制度が一部改正

―連帯保証人の金融機関への同行はいりません―

お申し込みになる前に必ず「兵庫県生活復興資金貸付制度のご案内」パンフレットで、条件等を正確確認ください。

県では、阪神・淡路大震災により被災されたかたの生活復興を支援するため、金融機関との提携による次のような貸付制度を実施しています。

このたび、連帯保証人の金融機関同行が貸付条件から削除される等の一部改正が行われました。この貸付制度は一世帯一回限り利用できます。

■貸付対象者

次の①から⑤の条件を満たすかた
①世帯主または世帯の生計を主に維持しているかた

②年間の総所得金額(給与所得者の場合、年間総収入から給与所得控除額を引いたもの)が六百九十万円以下のかた

③県内の市町で、全・半壊(焼)のり災証明書の発行を受けたかた

④申込時年齢が満二十歳以上のかた

⑤返済能力のあるかた(審査・貸付は、各金融機関が行います)

※生活保護世帯のかたは、申し込み

手続きをする前に福祉事務所にご相談ください

■貸付金額

十～百万円までで一万円単位。年間総収入が公的書類で証明できないかたは、金融機関の審査により二十万円まで

■貸付上限額の引き上げ

四月後半以降、貸付上限額が三百万円に引き上げられる予定です(決定次第お知らせします)

■貸付利率

年三% 利子補給され実質無利子

■返済期間・方法

六年以内で、うち一年以内据置可能。原則として元利均等月賦方式

■連帯保証人

原則として、連帯保証人一人が必要(家族でも可)

■連帯保証人の資格

この制度の貸付を受けないかたで、返済能力のあるかた

原簿として、連帯保証人一人が必要(家族でも可)

この制度の貸付を受けないかたで、返済能力のあるかた

■取扱金融機関

県内さくら・みどり・阪神・但馬各銀行、農協(組合員に限る)、兵庫労働金庫各本・支店、淡路島内の淡路信用金庫と淡陽信用組合

■取扱期限

平成十一年三月末貸付実行分まで

■用紙配布

「兵庫県生活復興資金貸付金申込のための事前確認書」および「兵庫県生活復興資金貸付制度のご案内」パンフレットは、県庁、各県民局、フェニックスプラザ(神戸市中央区)、阪神間各市・区役所、県下各区、取扱金融機関窓口にあります。

■対象者

次のいずれにも該当するかた

①申請時において、一年以上継続して芦屋市の国民健康保険に加入しているかた

②受診年度の四月一日現在の年齢が三十五歳以上(昭和三十七年四月一日以前生まれ)のかた

③申請時において、納期限の過ぎている保険料に未納がないかた

④同一年度内において、本制度の助成を受けていないかた

■検査機関・検査日、申し込み日等

芦屋病院が実施する一日人間ドックコース(毎週月曜日、金曜日)で、申し込み時にご希望の検査日を病院と調整して決定します。

なお、今年度から次のとおり二回

貸付を受けるための手順は、次のとおりです。また、り災証明書以外の各種証明書類の有効期間は、市町の確認時点で発行後三カ月以内です。

①市町で確認を受ける

被災した市町で「兵庫県生活復興資金貸付金の申込のための事前確認書」用紙により、確認書を発行してもらう。

②添付書類として、

ア、世帯主および世帯全員の記載のある住民票または外国人登録簿証明書の写

イ、市町発行の直近の所得証明書。申込者が世帯主以外で主たる生計維持者の場合は世帯主全員の所得証明書が必要

ウ、り災証明書(写)

エ、確認書(添付書類を含む)

オ、申込者の印鑑証明書と実印

カ、連帯保証人の印鑑証明書と実印および市町発行の所得証明書が必要

キ、連帯保証人がつけられない場合は、金融機関にご相談ください

市立芦屋病院での人間ドック検査料を助成

芦屋市国民健康保険では、疾病の予防、早期発見、早期治療を通じて、被保険者の健康の増進に役立てていただくため、「人間ドック検査料の助成」を行います。

■助成内容

市立芦屋病院一日人間ドック検査料の七割を市が負担(平成九年度検査料三万八千円のうち二万六千六百円を市が負担します)

すので、個人の負担額は一万一千四百円となります)

検査機関・検査日、申し込み日等

芦屋病院が実施する一日人間ドックコース(毎週月曜日、金曜日)で、申し込み時にご希望の検査日を病院と調整して決定します。

なお、今年度から次のとおり二回

芦屋の水道 8

■水道料金などの改定

水道料金・分担金等の改定内容を掲載した「広報あしや・水道特集号」を3月15日に、新聞折り込みで各ご家庭に配布しています。お気付きでない場合には、市内の公共施設、集会所にも置いてありますのでご覧ください。

■指定水道工事店制度の拡充

市内には、現在15の指定水道工事店があり、申請手続きの簡素化などを図ってまいりましたが、無届け工事も依然として多く、住宅建設の増加に給水装置工事申請などの業務が予定どおり進まない状況です。

そのため水道部では、阪神6市1町(尼崎・西宮・宝塚・伊丹・川西・三田)の各市と猪名川町の指定水道工事店についても、本市の指定工事店として申請手続きが行えるように働きかけ、募集を行いました。これらは、給水装置工事施行基準の講習会等諸手続きが終了してから指定することになります。これにより、震災復旧工事もより促進できると考えています。

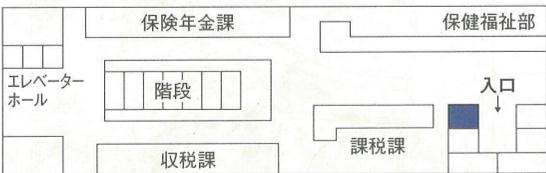
なお、指定工事店名などの詳細は、次号でお知らせします。

問い合わせ 水道部総務課 ☎38-2080

固定資産課税台帳の縦覧

平成9年度の固定資産課税台帳の縦覧を次のとおり行います。

期間 4月9日(水)～4月28日(月)
時間 午前9時～午後5時15分(土・日を除く)
場所 市役所南館1階課税課南相談室(下図)



問い合わせ 課税課固定資産税係 ☎38-2017

春の全国交通安全運動 4/6～4/15

- 重点および推進事項
- ①シートベルト着用の徹底
 - ②高齢者と子供の交通事故防止
 - ③自転車利用者のマナーアップ

平成8年中に、芦屋市内で発生した交通事故の件数は454件。死亡者は4人、負傷者は543人、そのうち重傷者は34人となっています。事故件数は平成7年に比べ25件減少したものの、死亡者は2人増加しています。

本市では芦屋警察署および芦屋交通安全協会などと連携し、より一層の交通事故防止対策に取り組んでいます。市民の皆さまも今一度、交通ルールやマナーの順守、シートベルトの着用などを徹底し、交通事故の防止に努めてください。

問い合わせ 道路課 ☎38-2063

第50回 芦屋市展作品募集

第50回を数える芦屋市展は、今年から展示会場(展示は入選作品のみ)を美術博物館に移し、新たな時代を迎えます。

出品希望者は、申込書(4月7日から市役所受付・市民センター・ラポルテ市民サービスコーナーなどで配布)を添えて応募してください

■会期 前期: 6月28日(土)～7月6日(日)
日本画・写真・彫塑・工芸部門
後期: 7月8日(火)～7月13日(日)
洋画及びその他部門

■会場 美術博物館

■応募要領

部門規格 洋画及びその他・日本画・写真・彫塑・工芸
平面作品は260cm×194cm(200号F以内)
立体作品は260cm×260cm×260cm以内
写真作品は六ツ切りより全倍(パネル、オーバーマットまたは額装[ガラス不可])まで
その他部門の作品は、屋内展示作品は立体部門と同じ。屋外展示作品は大きさ自由(各部門未発表のもの。1部門2点以内)

出品料 1部門につき、1200円

搬入日 6月22日(日)午前10時～午後4時に美術博物館へ搬入

賞 芦屋市立美術博物館賞(50万円)1点
市長賞、美術協会賞、教育委員会賞、市議会議長賞ほか

問い合わせ 美術博物館学芸課 ☎38-5432

百円となります)

アンダンテ

芦屋再発見

評論家・文化プロデューサー 河内厚郎

として、近代日本の生んだ代表的な作曲家といわれる故・貴志康一を取り上げたところ好評だったので、翌年も私が企画に参加することになったのです。

なぜファッションを取り上げたか

一昨年の二月、ルナ・ホールで予定されていた生涯学習フェスティバルでは、「芦屋のファッション」をテーマに取り上げることにいたしました。前年に「芦屋の音楽」として、近代日本の生んだ代表的な作曲家といわれる故・貴志康一を取り上げたところ好評だったので、翌年も私が企画に参加することになったのです。

という、日本で最初のファッション雑誌が芦屋で創刊されたからです。その名も雑誌『ファッション』は、一九三三年から一九三九年ごろにかけて出版されていきました。A四判よりひとまわり小さいサイズで、一冊約四十ページほど。出版社は阪神沿線の打出にありました。

当時の「モード」や「スタイル」という言葉が使われるのが普通だったらしく、今なら当たり前に使われている「ファッション」という外来語が日本に定着したのは一九七〇年代からのようです。だとすれば、ファッションという言葉は芦屋から広まった可能性もあるわけですね。

誌面は華やかで、「お部屋拝見」



河内厚郎（かわうち あつろう）氏
一九五二年兵庫県西宮市生まれ。「関西文学」編集長を経て、評論・文化プロデューサーを手がける。季刊「SOFT」編集委員。NHK近畿地区番組審議委員。NHKラジオセンター21世紀プロジェクト委員。最近の編書に「手塚治虫のふるさと・宝塚」等がある。

のよう欄をみると、当時の芦屋が日本でもっともおしゃれなまちであつたことが分かります。それで財団法人阪急学園池田文庫に収蔵されている『ファッション』を創刊号からロビーに展示して、創刊五年にして「関西の婦人雑誌の中で最も販売部数の多い雑誌」となった、この芦屋の文化を市民のかたに見ていただくことを考えたわけですね。



害のなかでもおしゃれ心を失わなかつた阪神間の女性たちのことを思うにつけ、「芦屋コレクション」の夢を捨てきれずにいます。

*今月からスタートした「アンダンテ」（ゆっくりと歩く速さの意）。一人三回、年間四人の執筆者を予定しています。四月・六月は、河内厚郎氏のユニークな文化論をお楽しみください。

春の公民館講座受講生募集

開講記念講演会

日時 4月19日（土）午後1時30分～3時
会場 市民センター301室
テーマ 日本国憲法はどうなっていくのか
講師 神戸大学法学部教授 浦部 法穂 氏
参加費 無料（申し込み不要。直接会場へ）
その他 手話通訳・2歳児以上託児あり

受講料 講座の初回に各講義室で。受講料は全回通しの金額。受講料は返金不可
託児 無料。2歳児以上。はがきに託児希望と記入
締め切り 4月8日（火）消印有効
申し込み 往復はがきに（複数の講座も1枚のはがきで可）
①講座名②住所（在勤者は勤務先住所）③氏名④電話番号⑤年齢⑥性別を記入し、（返信用にも住所、氏名を）郵送。多数のとき抽選（市内在住・在勤者優先）。定員に満たないときは、引き続き先着順で受け付け

申し込み 公民館 業平町8-24 ☎35-0700

講座名	講座内容 / 講師 (敬称略)	日時・会場	定員・受講料
日本国憲法50年を考える	国民主権と選挙制度 / 和田進 (神戸大学) 宗教と国家一信教の自由と政教分離 / 幸日出男 (同志社大学) 住民運動と知る権利 / 中田作成 (大阪工業大学) 震災復興と居住権 / 早川和男 (神戸大学) ほか	4/24~6/5 301室 全6回・木曜日中心 14:00~15:30 6/5は13:30~15:00	60人 500円 託児あり
「芦屋市史」を読む	芦屋の考古学 / 村川行弘 (大阪経済法科大学) 芦屋地方の民俗 / 上井久義 (関西大学) 今に生きる古文書 / 有坂隆道 (関西大学) 山口県文書館と芦屋 / 末中哲夫 (前早稲田大学) ほか	4/25~6/20 講義室 全7回・金曜日 14:00~15:30	60人 500円 託児あり
世界はニュースだけではわからない	時事経済解説 消費税アップで日本経済はどう変わるか / 瀧川好夫 (神戸大学) 以降のテーマ・講師は直前回にお知らせします。	4/26~9/20 301室 全6回・土曜日 14:00~15:30	100人 500円 託児なし
幼児教育学級一若いお母さんの子育て井戸端会議	子供と一緒に幼児体操 / 仁田泰美 (体操クラブフレッシュ主宰) 子育ては気楽に / 頼藤和寛 (大阪府中央子ども家庭センター主幹) 早期教育は必要ですか? / 松村暢隆 (関西大学) 絵本でこんなに楽しい / 芦田悦子 (子どもの図書館研究会) ほか	4/28~7/14 203室 全10回・月曜日中心 10:00~11:30中心	30人 1000円 託児あり
希望をオカリナに託して一親子オカリナ教室	希望と夢をオカリナに託して、親子でオカリナに挑戦。自分のオカリナを制作し、音色をつくる楽しみを味わう。最後に全員で発表会をして演奏を楽しむ / 鄭光均 (オカリナ造形家)	5/11~6/29 音楽室 全6回・日曜日 10:00~11:30	20人 500円 材料費2000円 託児なし
山歩きを楽しもう Part II	おいしい空気を吸いながら城山などのコースを歩いてみませんか。何回かは講師と一緒に歩き、植物や文化財などの学習をします。	4/26~6/14 全7回 土曜日 8:30~11:00	30人 500円 託児なし

予防接種を受けましょう

*必ず母子健康手帳を持参してください
*市外の学校園に通学・通園しているかたも受託医療機関で受けてください
*三種混合は、ジフテリア・破傷風・百日咳。二種混合は、ジフテリア・破傷風です
問い合わせ 保健センター ☎31-1586

接種種別	種別	対象年齢	回数	接種月
集団接種	ポリオ	対象年齢=生後3~90カ月 (標準生後3~18カ月) / 回数2回 (間隔6週以上) / 接種月=5・11月		
	ツ反・BCG	対象年齢=生後3~48カ月 (標準生後3~12カ月) / 回数1回 / 接種月=年7回		
個別接種	三種混合	対象年齢=1期初回:生後3~90カ月 (標準生後6~12カ月) / 回数3回 (間隔3~8週) / 接種月=通年 1期追加:生後3~90カ月 (初回接種後12~18カ月) / 回数1回 / 接種月=通年		
	二種混合	対象年齢=11~12歳 (標準小学校6年生) / 回数1回 / 接種月=通年		
	はしか	対象年齢=生後12~90カ月 (標準生後12~24カ月) / 回数1回 / 接種月=通年		
	日本脳炎	対象年齢=1期初回:生後6~90カ月 (標準3歳) / 回数2回 (間隔1~4週) / 接種月=通年 1期追加:初回終了後1年 (標準4歳) / 回数1回 / 接種月=通年 2期:9~12歳 (標準小学4年生) / 回数1回 / 接種月=通年 3期:14~15歳 (標準中学2~3年生) / 回数1回 / 接種月=通年		
	風しん	対象年齢=生後12~90カ月 (生後12~36カ月) / 回数1回 / 接種月=通年 12~15歳 (生後中学校2~3年生) / 回数1回 / 接種月=通年		

JR芦屋駅北駐車場 定期使用者の募集 回数券発売を開始

昨年十月にオープンした市営駐車場内に定期券駐車コーナーを設けましたので、定期使用者を募集します。また、お得で便利な回数券（プリペイドカード）の発売を始めますので、どうぞご利用ください。

- 定期使用者
 - 資格 市内在住・在勤者
 - 募集台数 三十三台（先着順）
 - 料金 三万五千円
 - 利用できる自動車
 - 普通・小型・軽自動車
 - 長さ五・六m、幅二・〇m、高さ二・〇mを超えるものは駐車不可
 - 出入庫時間帯
 - 午前六時から午前〇時まで
 - 駐車場 所定の定期券駐車コーナー内（場所は特定しません）
 - 利用期間 一カ月、三カ月、六カ月のなかから選択（継続申請可）
 - 利用開始日は月初、最終日は月末
 - *申し込み時印鑑をご持参ください
 - *車庫証明書等は交付しません
- 回数券の発売
 - 五千円券（五千五百円相当分）
 - 一万円券（一万二千円相当分）

4月5日（土）・6日（日）は 第9回 芦屋さくらまつりへ

スケジュール
4月5日（土） 午後1時30分～1時45分 セレモニー
午後2時～午後4時 イベント
午後5時～午後7時 さくらコンサート
4月6日（日） 午後1時～午後2時 イベント
午後3時～午後7時 さくらコンサート
4月5日（土）～6日（日）
午前11時～8時 緑日
午後6時～9時 さくらライトアップ
会場 芦屋川東岸（大正橋から阪急電鉄までの間）

協賛事業
■細雪まつり
4月5日（土）午後2時～
開森橋東詰「細雪」文学碑前
問い合わせ/谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852
■春休み絵画コンクール
4月4日（金）午前11時～午後2時
<雨天のとき4月5日（土）>
月若公園（阪急芦屋川駅南150m）
問い合わせ/モンテメール管理事務所
☎31-0203

問い合わせ コミュニティ課 ☎38-2007

「下水」の水質検査結果

下水処理場 ☎32-1291

項目	試験日	2月20日(木)	3月6日(木)	活性汚泥法処理による基準
天気	候	晴れ	晴れ	
水温(℃)		6.0	12.0	
検査名		流入水	処理水	
水温(℃)		13.5	16.5	
P	H	7.2	6.9	7.3
S	S(mg/l)	108	2	111
BOD	(mg/l)	73	15	350
大腸菌群数	(コ/ml)	96000	1	113000
				890
備考		前々日 晴れ	前日 晴れ	
		前日 晴れ	前々日 晴れ	

用語の説明 【PH】水素イオン濃度。酸性度を示し7が中性。7より大きいほどアルカリ性が、小さいほど酸性が強い【S】不溶性の固形物。水質汚染の原因になる【BOD】生物化学的酸素要求量。数値が高いほど有機物が多い。

公債費前年度に比べ38.8%増、厳しい財政運営

平成9年度施政方針・予算の概要

2月27日から開かれた平成9年第1回定例会議で、北村市長は、「21世紀を展望した誇りと愛着を感じる国際文化住宅都市の創生」を基本理念にしたまちづくりを目指す施政方針を表明しました。また、3月26日の本会議では平成9年度予算案が可決され、厳しい財政状況の中で「行政改革緊急3カ年実施計画」を着実に進め、財政の健全化を目指すことになりました。その概要をお知らせします。

問い合わせ 企画財政課 ☎38-2005/(財政担当) ☎38-2011

平成9年度当初予算 ()内は対前年度比

一般会計 477億6,000万円 (6.5%増)

特別会計 163億3,880万円 (8.3%減)

- ◆国民健康保険事業 45億1,800万円 (4.5%増)
- ◆下水道事業 34億1,400万円 (28.9%減)
- ◆公共用地取得費 4億2,600万円 (9.0%増)
- ◆交通災害共済事業 1,180万円 (同額)
- ◆都市再開発事業 5億3,200万円 (33.3%減)
- ◆老人保健医療事業 72億7,200万円 (3.1%増)
- ◆駐車場事業 1億6,500万円 (62.5%減)

企業会計 84億6,620万円 (8.3%増)

- ◆病院事業 54億9,325万円 (1.9%増)
- ◆上水道事業 29億7,295万円 (22.5%増)

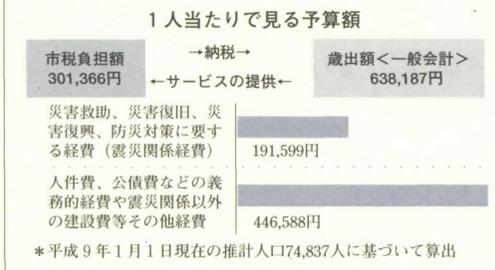
総額 725億6,500万円 (2.9%増)

基金残高の状況 (単位 千円)

基金名	7年度末残高	8年度末残高見込	9年度末残高見込
財政基金	4,281,191	1,668,930	1,168,930
減債基金	906,508	737,622	567,736
職員の退職手当基金	1,668,420	1,677,420	1,686,620
公共施設等整備基金	10,453,493	6,360,993	4,324,693
社会福祉「友愛」基金	318,131	315,631	312,631
市民文化振興基金	1,142,000	1,142,000	1,104,000
緑化基金	313,000	315,000	315,000
ボランティア基金	123,750	123,750	123,750
スポーツ振興基金	200,000	200,000	200,000
長寿社会福祉基金	1,334,133	1,234,133	1,134,133
環境保全基金	100,000	100,000	100,000
小計	20,840,626	13,875,479	11,037,493
美術品等取得基金	200,000	200,000	200,000
土地開発基金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
小計	1,200,000	1,200,000	1,200,000
合計	22,040,626	15,075,479	12,237,493

市債現在高の状況 (一般会計) (単位 千円)

年度	7年度末	8年度末見込	9年度末見込
一般会計	70,171,554	94,742,804	97,481,764

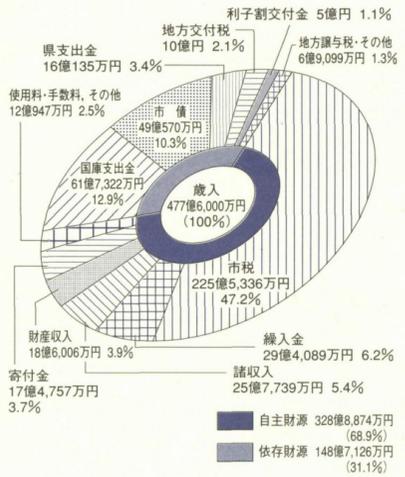


予算総額は725億6,500万円

一般会計歳入・歳出の内訳

歳入の主なものは、市税225億5,336万円、国庫支出金61億7,322万円、市債49億570万円となっており、これらで歳入全体の70.4%を占めています。このうち市税は、個人市民税の雑損控除適用額の減少や、特別減税の廃止等により、前年度に比べ13%の増加となっています。

歳入を自主財源(市自ら確保する収入)と、依存財源(国・県から交付されたり、借り入れたりする収入)に分けると自主財源は328億8,874万円、歳入総額に占める割合は68.9%となっています。



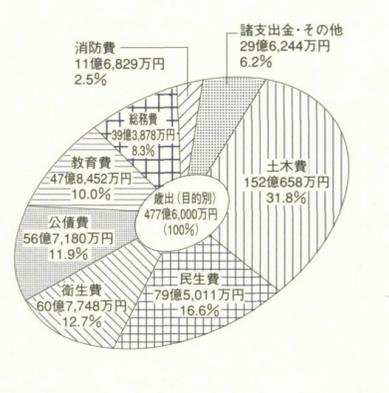
- ### ◆経費の節減対策等◆
- ①経費の節減 5億1,386万円 (事務事業の整理・合理化・民間委託、経常経費の節減)
 - ②財政の効率的運営 1億218万円 (市有財産の有効活用、補助金等の整理・合理化)
 - ③人件費の抑制 4億2,716万円 (職員数の減、給与の適正化)
 - ④使用料の改定 2,939万円 (公有財産貸付料、市民会館会議室使用料等)
- 合計 10億7,259万円

◆歳出◆

歳出のうち震災関連事業は143億3,866万円で、全体の30%を占めています。主な内訳は、街路事業・土地区画整理事業・若宮地区震災復興環境整備事業等の復興関係経費が129億4,483万円、埋蔵文化財発掘調査等の災害復旧費が7億478万円、仮設住宅関係経費等の災害救助費が6億8,905万円です。

歳出全体を目的別にみれば、土木費が最も多く総額の31.8%を占め、次いで民生費が16.6%となっています。土木費の主なものは、震災復興事業の経費であり、民生費では仮設住宅の撤去経費、特別養護老人ホーム(あしや喜楽苑)開設に伴う経費等が、その内容です。

また、前年度と比べて増加率が最も大きいのは公債費(市債の元利償還金)で、38.8%の増加を示し、56億7,180万円となっています。公債費の増加傾向は今後も続くものと予測され、平成12年度頃には100億円を突破する可能性が濃厚であり、財政運営上の重要な課題となっています。



市町村のまちづくり事業については、財団法人兵庫県市町村振興協会が、サマージャンボ宝くじの収益金を基金として活動し、従来から市町村の振興・発展を支援してきました。芦屋市も、震災復興・復興対策として平成7年度に資金の交付を受け、地区集会所の修復工事や、重要文化財山邑家住宅(ライト邸)の復旧工事、土地区画整理事業等の復興事業のために活用しています。

◆◆ 基本方針 ◆◆

昨年策定した「行政改革大綱」「行政改革緊急3カ年実施計画」に基づき、行政改革に取り組みとともに、「芦屋市震災復興計画」に基づき、国の内外に誇れる「小さな大都市・芦屋」のまちの再生を図ります。

一日も早く市民の皆さまの生活再建を図るため、住宅の復興、市街地の復興を最重点事業するとともに、防災対策や、福祉、教育・文化の復興にも全力を尽くし、南芦屋浜地区での事業とあわせ、国際文化住宅都市にふさわしいまちづくりを推進します。

◆◆ 住宅の復興 ◆◆

平成十年三月には、南芦屋浜地区に四百戸の市営住宅が完成します。「芦屋市復興住宅特別融資制度」の一年延長、「優良建築物等整備事業」、「芦屋市特定優良賃貸住宅制度」等により、住宅再建の支援を進めます。

公営住宅等の維持管理については、本年一月に設立した芦屋市都市整備公社で行います。

◆市街地の復興◆

中央地区は、事業計画に基づき、仮換地の指定、建物移転、川東線など公共施設整備工事等を実施し、西部地区については、事業計画の認可を受け、早期に仮換地の指定ができるよう努めます。

また、若宮地区の震災復興住環境整備事業については、本年度は用地の取得と、従前居住者用住宅の建設に着手できるよう努めます。

J R芦屋駅南地区については、駅前広場および駅前線の公共施設整備を地区内の皆さまと協議しながら、事業を進めます。

芦屋中央線とJ Rとの立体交差拡幅工事、山手幹線の整備、通称「白橋」の架け替え工事を推進します。

景観行政については、公共空間の景観デザインマニュアルおよび都市計画マスタープランの作成を考えています。

◆防災対策◆

震災の教訓を踏まえ、防災意識の啓発と、自主防災組織の結成と育成に努めます。

耐震性防火水槽や備蓄倉庫および

防災用資機材を整備し、「非常順次通報システム」の導入、「地域非常通信ネットワークシステム」への参画を行います。さらに、消防職員を増員し、「高度救命処置用資機材」の整備を行います。

また、災害時に避難所となる学校の防災設備工事やバリアフリー対策工事などを進めます。

◆福祉の復興◆

市民の皆さまが快適で安心して暮らせる「福祉が充実したまちづくり」を進め、高齢者や障害者に対する事業や相談・指導業務の充実を図ります。

また、保育行政は、地域のなかで「開かれた保育所」となるよう内容の充実を図ります。

健康づくりの推進については、「休日応急診療所」を医師会が建設する「仮称「医療センター」内に開設します。

なお、仮設住宅入居者や在宅被災者の健康を守り、孤独死がないよう、「ケア付仮設住宅」、「ふれあいセンター事業」を継続し、各戸訪問や相談業務を引き続き実施します。

芦屋病院の運営は、経営基盤の確立に向けて昨年に策定した経営方針「信頼され、選ばれる市民病院をめ

ざして」に沿って取り組みます。

◆教育・文化の復興◆

宮川小学校の運動場整地工事や精道小学校の保健室冷暖房工事などを実施します。

また、ルナ・ホールは本年七月から、体育館・青少年センターは十月から再開できるよう復旧工事を進め、美術博物館や谷崎潤一郎記念館では、「阪神間モダニズム展」を他市の美術館と共催します。

コミュニティ・スクール活動やあしや三大まつりに対し引き続き支援・助成をします。また、国際交流協会と連携した第二回地球家族会議を開催します。一方、「しそう森林王国との交流」もさらに進めていきます。

女性施策については、男女共生を図る各種講座の開催をはじめ活動団体のネットワーク化、情報の提供などを実施します。

◆その他の事業◆

同和施策については、昨年の芦屋市同和对策審議会答申を尊重して対応していきます。

市民への人権教育・人権啓発については、今後、国で策定される「人権教育のための国連十年の行動計画」を踏まえて取り組みます。

商業の復興については、「商業共同施設助成」に加え、芦屋市商工会と連携して市内消費向上キャンペーンを継続し、高度化資金の導入など側面的援助をしていきます。

環境施策については、「芦屋市空き缶等の散乱防止に関する条例」を制定し、ごみなどのポイ捨てをなくしていきます。また、「芦屋市環境づくり推進会議」で、より良い環境づくりのための情報交換や提案をい

ただき、啓発事業の充実を図ります。

また、国道四十三号および阪神高速道路沿道の環境対策の早期実施を国等関係機関へ要望していきます。

◆行財政運営◆

公債費が大幅に増加するとともに震災関連事業についても多額の財源が必要となることから、ますます厳しい財政運営が続きます。不足額は、国庫補助金の確保、市債の発行、各種基金の取りくずし等で対応するとともに、経常経費の削減、事務事業の見直し、財政の効率的運営などを進め、財政の健全化に努めます。

市民会館使用料などの各種使用料は、経済情勢の変化や近隣各市との均衡などを考慮して改定します。

広報チャンネル番組ガイド 9CH

放送開始 4/1 (10:00) ~ 4/15 (~10:00)

放送開始	A	B	C
6:00			
9:00	00分 あしやNOW (*) 15分 フレッシュレポート (*) 「広報委員会が残したもの」	00分 市民リポーター企画 (*) 「市役所探検」	00分 ニッポンみたま
12:00	30分 詩をよむ 40分 「まちかど定点観測」 (松ノ内町)	20分 健康ポップ・ステップ 30分 広報カメラ撮りつきり (*)	30分 再放送番組 「芦屋の自然」
15:00	50分 文字放送 (ゴミ、救急当番医)	50分 ナレーション付き文字放送 (お知らせ)	
18:00			
21:00			

■日・月・木…ABC、火・金…CAB、水・土…BCAの順に、午前6時から3時間サイクルで放映しています。番組内容などは変更になる場合もあります。(*)印の番組はビデオの貸し出しが可能です。

広報チャンネルに関する問い合わせ 広報課☎38-2006/CATV加入に関する問い合わせ C C A ☎0120-181-344

「宮川小学校創立70周年ならびに新校舎完成を祝う会」 「宮小70周年記念同窓会」のお知らせ

宮川小学校は、平成8年に創立70周年を迎え、平成9年1月には、新校舎が完成しました。これを記念して、次の催しを開催いたします。

◆宮川小学校創立70周年ならびに新校舎完成を祝う会
日時 4月18日(金) 午前10時~11時

◆宮小70周年記念同窓会
日時 4月20日(日) 午後1時30分~5時
受付 午後1時~
参加費 1000円(申し込みは特に必要ありません。皆さま、お誘い合わせのうえ、ご参加ください)
*会場はいずれも宮川小学校体育館

問い合わせ 宮川小学校 ☎32-1112

◇特別展 菅野聖子展 ~ 詩と絵画と音楽と ~

菅野聖子(1933-1988)の回顧展。大学卒業後から急速するまでの30年間に描かれた絵画、素描など約70点と詩作品など、関連資料によりその仕事を顧みる。

会期 4月5日(土)~5月18日(日)(月曜日休館)
午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
ただし5月5日は開館。翌日休館

観覧料 一般500円 大学・高校生400円
中学・小学生は無料、市内在住の65歳以上のかた、身体障害者手帳・療育手帳をお持ちのかたは半額。
団体(20人以上)は2割引

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■婦人週間記念アフタヌーン・サロン■

「ひとひと バランスある社会へ」

— レンズを通して見た世界の女性 —

日時 平成9年4月19日(土)
午後1時30分~3時30分
市民センター音楽室

会場 市民センター音楽室

参加費 無料

定員 150人(先着順)

申込 満2歳から就学前の幼児
無料。4月15日までに予約
はがき、またはFAXで。住所・氏名・電話番号を記入のうえ、下記まで。
保育希望のかたは、子どもの名前、年齢、性別も記入してください

問い合わせ 女性センター「婦人週間アフタヌーン・サロン」係
(大原町2-6 ラ・モール芦屋2階) ☎38-2023 FAX:38-2175

第1部 講演 大石芳野氏 (写真家)

第2部 対談 大石芳野氏 & 近藤三津枝氏 (フリージャーナリスト)

PRESERVATION OF HEALTH & ENVIRONMENT

保健と環境

芦屋病院 ☎:31-2156
 保健センター ☎:31-1586
 芦屋保健所 ☎:32-0707
 環境サービス課 ☎:22-2155

■日曜・祝日救急当番医

- 内科** 9:00~17:00
 芦屋市医師会 ☎32-2000
- 4/6日 由っ子クリニック(婦) 伊勢町2-18 ☎38-7291
 4/13日 西川内科 船戸町4-1401 ☎31-7789
 4/20日 かわり小児科 竹園町6-22 ☎34-6321
 4/27日 吉田内科クリニック 茶屋之町2-21-305 ☎38-7210
 4/29日 坂東診療所(外) 松ノ内町10-18 ☎32-3399
 5/3日 高田診療所(内) 浜町10-5 ☎31-0680
 5/4日 大谷整形外科クリニック 大原町11-24-216 ☎34-7077
- 歯科** 9:00~12:00
 芦屋市歯科医師会 ☎23-6471
- 4/6日 杉井歯科 岩園町1-7 3F ☎21-2525
 4/13日 坪内歯科医院 精道町6-10-103 ☎22-1712
 4/20日 仁木歯科医院 大東町10-9-1 ☎32-6544
 4/27日 にしき歯科医院 浜町2-11-101 ☎23-6430
 4/29日 岡歯科医院 大原町11-24-206 ☎22-0139
 5/3日 はまもと歯科クリニック 精道町7-1 ☎21-2288
 5/4日 能治歯科医院 西芦屋町6-13 ☎32-3386

夜間在宅輪番

- 時間…夜間(毎日)21時~翌7時
- 問い合わせ…消防本部(☎32-2345)

耳鼻咽喉科・眼科の急病診療

- 診療日…日曜・祝日、9時~16時
- 場所…尼崎医療センター(尼崎市水堂町3-15-20 ☎06-436-8701)

大型ゴミの収集日

大型ゴミに出す物の大きさは、灯油缶を目安にしてください。また、自転車などを出す場合は、必ず「不用品」と張り紙をしてください。

町名・地域	4月	5月
山芦屋・西山・西芦屋	14	12
朝日ヶ丘	15	13
伊勢・竹園・浜芦屋・松浜	16	14
月若・三條・平田・奥池・奥池南	17	15
茶屋之・大樹・公光・業平・上宮川	18	16
宮塚・平田北	19	17
楠・春日	21	19
六麓荘・岩園	22	20
船戸・松ノ内・清水・前田	23	21
山手・奥山・三條南	24	22
東山・東芦屋	25	23
打出小槌・若宮・打出	26	24
大東・呉川	28	26
翠ヶ丘	1 29	27
南宮・西蔵	2 30	28
大原・親王塚	3	1 29
津知・川西・精道・宮川	4	2 30
浜	5	3 31
高浜1~4	7	5
高浜5~10	8	6
若葉1~3・緑	9	7
若葉4~7	10	8
浜風・新浜	11	9
潮見	12	10

●芦屋病院健康教室

芦屋病院では、毎月当病院の医師・看護婦・技師・薬剤師・栄養士を講師とし、身近な健康問題を取り上げて「健康教室」を開いています。

申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

日時 4月16日(水)午後1時30分~3時
 会場 芦屋病院外来棟5階待ち合いホール
 費用 無料

第4回テーマ「気管支喘息」

司会/園田隆臨床検査科部長

- ①気管支喘息のすべて 園田隆臨床検査科部長
- ②喘息患者の生活指導について 吉野明美看護婦
- ③リハビリ運動療法について 近藤康三リハビリ科技師長補佐

④吸入療法について 谷畑之祥薬剤師
 問い合わせ 芦屋病院総務課管理係

●糖尿病教室

日時 4月11日(金)午後1時30分~3時
 会場 芦屋病院南病棟1階講義室

テーマ みんなで学ぶ糖尿病 金山良男内科部長
 問い合わせ 芦屋病院業務課栄養係

●母子保健事業のお知らせ

平成9年4月から母子保健法の改正により、妊婦相談、新生児訪問、4カ月児健康診査および3歳児健康診査の実施主体が県から市に変わります。

新生児訪問については、出産後すぐ母子健康手帳に添付のはがきでご連絡ください。また各健診については各月の対象児に個別にご案内します。

(これに伴い、下記の健康カレンダーも変更になっていますのでご注意ください)

問い合わせ 保健センター

●献血にご協力を

日時 4月18日(金)午前10時~午後3時30分

会場 精道小学校講堂前
 問い合わせ 保健センター

●ふれあいセンター健康相談

地域を担当する保健婦が中心となって、血圧測定や保健相談、栄養相談(試食)、心の相談などを行います。

日程・会場 4月7日(月) 松浜
 8日(火) 呉川
 16日(水) 潮見(中)
 17日(木) みどり町
 21日(月) 川西
 28日(月) 中央公園

上記の各ふれあいセンターで。

時間 いずれも午後1時30分~3時30分
 問い合わせ 保健センター

●いきいき栄養講座受講者募集 (いずみ会リーダー養成講座)

日時 初回は5月12日(月)
 以降主に第2月曜日(年間12回)
 午前10時~正午

会場 芦屋保健所1階衛生教育室

内容 健康づくりと食生活

定員 30人(先着順)

申し込み 4月21日(月)までに、はがきに住所、氏名、年齢を記入し、「芦屋保健所いきいき栄養講座係」(公光町1-23)へ

●あじさいの会 (痴ほう性老人を支える家族の会)

日時 4月21日(月)午後1時30分~3時30分

会場 芦屋保健所

内容 交流会(託老希望者は事前に要連絡)

問い合わせ 芦屋保健所健康課

4/1▶5/5 健康カレンダー

保健センター 阪神芦屋駅から北へ200m

内容	日時	対象・経費・その他
ツベルクリン反応検査 ツ反判定・BCG接種	3/31日 2日 13:30~14:30	3ヵ月~4歳未満児(母子健康手帳、申し込み書・体温計持参)無料
母親学級(予約制)	前期 2日13:30~16:00 16日10:00~14:00	前期、母子健康手帳持参 テキスト代500円 調理実習材料費650円
妊婦健康相談(予約制)	4・5/2日9:30~10:30	助産婦による相談
新生児訪問指導	随時	第1子のみ出生連絡票返送者
育児相談(予約制)	21日9:30~11:30	母子健康手帳持参 身体計測子育て相談無料
なかよし育児教室(予約制)	15日10:00~11:30	6~7カ月児 母子健康手帳持参 無料
4カ月児健康診査	9・23日 13:00~14:00 場所 保健所	H8.12.1~15生まれ H8.12.16~31生まれ 無料
1歳児健康診査	委託医療機関で実施	(無料)
1歳6カ月児健康診査	17日13:00~14:00 場所 保健センター	H7.9.16~H7.10.15生まれ 無料
3歳児健康診査	今月はありません	—
アレルギー相談(予約制)	28日9:30~11:30	アトピー性皮膚炎等の相談

芦屋保健所 国道2号線業平橋東へ150m

内容	日時	対象・経費・その他
歯科保健相談	2日・5/7日 13:45~14:15	乳幼児、妊婦、中高年、一般、高齢者の義歯等相談
乳幼児歯みがき教室	2日・5/7日 13:00開始	0~6歳児。歯ブラシ・コップ・母子健康手帳持参
3歳児心の健診	8・15・22日 9:00~10:45	満3歳児 しつけ子育て相談
こども心の相談(予約制)	8日 13:30~14:30	ことばの遅れ、しつけ相談(児童精神科専門医)
療育相談(予約制)	14日 13:30~14:30	子どもの発達について、専門医による相談

内容	日時	対象・経費・その他
在宅寝たきり者訪問指導	随時、 保健センターに お申し込みください	在宅で40歳以上の寝たきり、準するかた(無料)
在宅寝たきり者歯科訪問指導	随時、 保健センターに お申し込みください	在宅で65歳以上の寝たきり、準するかた(無料)
市民健診(肺がん検診40歳以上)	4日・5/2日 9:30~10:30	16歳以上→胸部X線・血圧・検尿(無料)40歳以上→前記の他、心電図・採血(絶飲絶食400円)
貧血検査	随時	16歳以上(130円)
健康チェック(予約制)	5月分予約受付中 9:15~	35歳以上(成人病予防11項目5500円)
栄養相談(予約制)	22日9:30~11:30	(無料)
健康相談	1・15日 13:00~15:00	成人を対象に医師による相談(無料)
胃がん検診(予約制)	3・10・14・17・21・24・28日 5/1日9:15~10:30	35歳以上(1000円)
子宮(頸部・体部)がん検診 乳がん検診	随時(医療機関で診療時間内の午前中)	30歳以上。子宮がん(1000円)乳がん(400円)
大腸がん検診	受付随時。提出日:1・8・15・22日午前中	40歳以上(800円)、採便容器を渡し、とり方の説明
歯の無料相談と健診	16日13:00~14:30	歯科医師会館(無料)

内容	日時	対象・経費・その他
おとしより心の相談(予約制)	2日・5/7日 13:30~14:30	老人の痴ほう、不眠等相談(専門医と保健婦)
心の相談(予約制)	22日 13:30~14:30	うつ、ノイローゼ、不眠、アルコール等専門医の相談
アルコール依存症家族会	11日 10:00~12:00	アルコール問題に悩んでいる家族(要事前連絡)
一般健康相談(予約制)	4・18日・5/2日 13:00~14:00	有料。診察・尿・血液検査・X線・心電図・HIV検査ほか(事業所検診は申込制)
検便・水質検査	毎週月・火・水曜日 9:00~12:00	有料。特殊項目水質検査などは第1・3月曜日

ごめん ない REPORT

お知らせ

市税の納付には便利な口座振替を

納期の度に市役所や金融機関に行かなくても、預貯金口座から納付できるので、お忙しいかたには特に便利です。預貯金口座のある金融機関・郵便局で手続きをしてください。

なお、前納報奨金の交付率の改正に伴い、平成9年度分市税口座振替の納付方法の変更を希望するかたは、4月15日(火)までにお届けください。

問い合わせは、課税課管理係(☎38-2111)へ。

市民課からのお知らせ

毎年4月～5月は、転勤・転入学などに関連する届け出や証明書発行の件数が多く、週の初めと終わりは特に混雑します。週の中ごろのご利用にご協力ください。

なお、住民票の写し、印鑑証明、戸籍謄抄本等の交付、年金の現況証明は、ラポルテ市民サービスコーナーでも取り扱っていますので、ご利用ください。

問い合わせは、市民課(☎38-2030)へ。

ねこの引き取り日時の変更

●日時…4月23日(水)9時30分～10時
●会場…市役所南館玄関横 ●費用…<生後91日以上のおねこ>1匹につき1700円、<生後90日以下のねこ>10匹までごとに1700円(拾得ねこは無料) ●問い合わせ…環境管理課(☎38-2050)

身体障害者移動相談

●日時…4月16日(水)9時30分～●会場…西宮市総合福祉センター ●対象…身体障害者手帳所持の肢体不自由者 ●問い合わせ…福祉課障害福祉係(☎38-2043)

市奨学金申請の受付

経済的な理由により修学が困難な人を対象に平成9年度の市奨学金の受給申請を受け付けます。

●資格…①高等学校、高等専門学校、大学または盲学校、ろう学校、養護学校の高等部、もしくはこれに準ずる学校の高等部に在学していること②申請者の生計を維持する人が市内に住居を有していること③申請者の生計を維持する人の年間所得が基準額以下であること ●申し込み…4月30日(水)までに市内の公立高校に在学している人は各学校へ、その他の人は教育委員会総務課(☎38-2085)へ

生涯学習課からのお知らせ

<スポーツ活動を助成します>
市民のスポーツ活動を支援するため、次の事業に必要な経費の一部を助成して

います。該当するかたは申請してください。①国際的または国内のスポーツ交流に関する事業②各種広域スポーツ大会へ選手を派遣する事業③スポーツ選手の強化をはかる事業

<スポーツ活動の表彰をします>

次に該当するかたは、4月10日(木)までにお知らせください。①8年度県大会以上の公認スポーツ大会で3位以上の成績を収めた人②スポーツ振興に顕著な功績があった人(推薦)

<のびのびパスポートを配布>

神戸市等の教育施設へ無料で入館できるパスポートを、市内に住む小学生に配布します。

●利用できる日…日曜、祝日、第2・4土曜日、春・夏・冬休み ●配布方法…新学期に学校で配布。市外の学校に通う小学生は生涯学習課へ連絡

いずれも問い合わせは、生涯学習課(☎38-2091)へ。

ミニリサイクル教室

—パッチワークの鍋つかみ—

●日時…4月7日(月)13時30分～16時
●会場…消費生活コーナー(南館地下1階) ●持ち物…針、糸、はさみ、木綿の古布(柄物90cm×20cm、無地90cm×30cm、20cm×20cm) ●問い合わせ…消費生活センター(☎38-2034)

公民館の催し

<TATAMIサロン小植寄席>

●日時…4月11日(金)19時～20時30分
●会場…老人福祉会館(市民センター別館1階) ●出演…桂春団治一門会(桂小春ほか) ●定員…当日先着100人(申し込み不要) ●費用…無料

<文学に親しむつどい>

●日時…4月12日(土)10時～11時30分
●会場…市民センター301室 ●内容…芥川龍之介の文学 ●講師…近畿大学教授・浅野洋氏 ●定員…当日先着100人(申し込み不要) ●費用…無料

いずれも問い合わせは、公民館(☎35-0700)へ。

図書館からのお知らせ

<子どもおはなしの会・絵本の会>

●日時…毎週土曜、14時～15時 ●会場…図書館1階おはなしのへや、よみきかせのへや ●対象…3歳～小学生中心

<打出分室子どもおはなしの会>

●日時…4月3日(木)15時10分～15時30分 ●会場…打出教育文化センター1階・和室 ●対象…4歳以上

<金曜シネサロン>

●日時…毎週金曜、13時30分～ ●会場…図書館集会所 ●内容…4日「優駿」、11日「泥の河」、18日「蜚川」、25日「夢見通りの人々」

いずれも問い合わせは、図書館(☎31-2301)へ。

児童センターの催し I

<親子自然教室>

●内容…休日に年5回、野外で植物や昆虫などの観察・採集を行い、自然とのふれあいを楽しむ ●対象…小学生と保護者 ●定員…30組 ●参加費…無料

<小学生トランポリン教室>

●内容…トランポリンを楽しみながらスポーツの基礎体力を育てる ●対象…小学1年生 ●募集人数…5人 ●回数…4月から30回 ●時間…月3回月曜日、15時15分～16時45分 ●会場…上宮川文化センター ●参加費…無料

<親子トランポピクス教室>

●内容…音楽に合わせてジョグ(器具)の上で楽しく体を動かす ●対象…3歳児(平成5年4月2日以降生まれ)と保護者 ●募集人数…親子20組 ●回数…4月から20回 ●時間…月3回、水曜日①14時～15時②15時15分～16時15分 ●会場…上宮川文化センター ●参加費…無料

いずれも申し込みは、4月7日(月)

<消印有効>までに、はがきに住所、氏名、年齢、教室名(1教室1枚)、希望クラスを記入し、児童センター(上宮川町10-5、☎22-9229)へ。多数のとき抽選

児童センターの催し II

<ひよこひろば>

●対象…1～2歳児と保護者 ●開設日…4月23日(水)、30日(水)5月から毎月3回水曜日(夏休み等は除く)10時15分～11時30分 ●定員…16組(当日受付) ●会場…上宮川文化センター・遊戯室

<親子ひろば>

●対象…3歳児(平成5年4月2日以降生まれ)と保護者 ●定員…32組 ●開設日…5月から週2回、10時～11時30分 ●申し込み説明会…4月10日(木)・11日(金)10時30分～11時15分 ●会場…上宮川文化センター

いずれも問い合わせは、児童センター(☎22-9229)へ

谷崎潤一郎記念館の催し

<源氏物語講座受講者募集>

●日時…4月28日(月)10時から毎月第4日曜日、計6回 ●会場…市民センター ●受講料…6回分、3000円 ●講師…京都橘女子大教授・鈴木紀子氏 ●定員…100人 <谷崎潤一郎作品朗読会>

●日時…4月3日(木)13時30分～ ●会場…谷崎潤一郎記念館講義室 ●参加費…無料(入館料が必要) ●朗読作品…「谷崎潤一郎とゆかりの作家永井荷風の作品から」 ●朗読者…朗読グループRST ●受け付け…当日受け付け、先着30人

いずれも問い合わせは、谷崎潤一郎記念館(☎23-5852)へ。

第6回ユース・クラブ

行ってみたいな、アフリカ!

西アフリカのセネガルの人々の暮らしをスライドを使って紹介します。

●日時…4月25日(金)18時30分～20時 ●会場…国際交流協会会議室(ラ・モール芦屋2階) ●講師…青年海外協力隊OB・梶田誠氏 ●参加費…無料 ●定員…20人 ●申し込み…国際交流協会(☎34-6340)

緑化協会の名称が変わります

4月1日から緑化協会は、(財)芦屋市都市整備公社に統合されますが、緑化活動などの業務内容は変わりませんので、引き続きよろしくお願いいたします。

問い合わせは(財)芦屋市都市整備公社(☎38-2103)へ。

社会福祉協議会からのお知らせ

<高齢者健康相談>

●日時…4月9日(水)、4月21日(月)14時～16時 ●会場…福祉会館

<お茶のみ友達相談>

●日時…4月6日(日)10時～14時 ●会場…福祉会館 ●対象…男性60歳、女性55歳以上の独身のかた

いずれも問い合わせは、社会福祉協議会(☎32-7530)

阪神福祉事業団職員募集

●職種…看護婦1人 ●資格…昭和27年4月2日以降出生者で看護婦免許を有するかた ●応募期間…4月7日(月)～4月18日(金) ●試験日…4月24日(木) ●採用予定日…10月1日 ●問い合わせ…(社)阪神福祉事業団(☎078-903-1661)

阪神・淡路大震災にかかる雇用奨励金

●対象…平成9年1月22日以降、新たに被災者を雇用した事業主 ●奨励金の種類…震災失業者雇用奨励金(県内)被災者雇用奨励金(全国) ●問い合わせ…阪神県民局労政課(☎06-481-7641)

県立阪神4年制老人大学(仮称)

入学者の募集

●内容…阪神地域の特性や課題に対応した地域活動やボランティア活動等の指導者を養成する ●対象…60歳以上で学習や地域活動に意欲のある阪神地域在住者 ●募集要項等…生涯学習課で配布 ●締め切り…4月18日(金) <消印有効> ●問い合わせ…県高齢者生きがい創造協会(☎0794-24-3342)

寄付

2/10～3/7 (敬称略)

道路課取り扱い分

[緑と環境を守る運動を記念して]
●太陽電池時計(50万円相当)、川西町緑と環境を守る会

公園緑地課取り扱い分

●ソメイヨシノ50本(18万円相当額)、秋田県横手市●ハクモクレン40本(23万円相当額)、神奈川県鎌倉市●クロマツ10本(12万円相当額)、静岡県藤枝市●ソメイヨシノ1本(5万円相当額)、芦屋市三団体協議会

保健福祉部総務課取り扱い分

[社会福祉のために] ●236万2430円、国際ソロプチミスト芦屋 ●3000円、匿名 ●50万円、木村礼子

[震災遺児のために] ●6037円、匿名
芦屋ハートフル福祉公社取り扱い分

●100万円、井田忍・井田憲之 ●8500円、杉崎富美子 ●10万円、井上治子 ●2万円、匿名

社会福祉協議会取り扱い分

●2万6376円、芦屋地区更生保護婦人会

ラポルテ市民サービスコーナーは、ラポルテ本館休館日のため、4月10日(木)と17日(木)は休業します

狂犬病予防注射と犬の新規登録

狂犬病予防注射と犬の新規登録を右記の会場および各動物病院で実施しますので、日時、会場等をお確かめのうえ、必ず受けてください。

●持参するもの…通知はがき(登録済み犬のみ)
●費用(1頭)…注射のみ(登録済み犬)→3200円
注射と新規登録料→6200円

●お願い…注射を受ける前には、犬の健康状態を飼い主が必ず確認しておいてください。

なお、以前に予防注射によりアレルギーを起こしたことがある犬、けいれん発作を起こしたことがある犬、老犬(10歳以上がめど)、妊娠犬、攻撃性のある犬、飼い主が押さえることができない犬などは、事前に動物病院にご相談ください。

問い合わせ
生活環境部環境管理課 ☎38-2050
芦屋保健所 ☎32-0707

市内の動物病院

フジタ動物病院 松ノ内町3-23 ☎31-6500
ブル動物病院 茶屋之町4-11 ☎23-5655
芦屋動物病院 打出小植町9-1 ☎22-3961
飯盛動物病院 南宮町12-24 ☎38-5554
野口動物病院 東山町2-6 ☎32-1551

日程	10時～11時	14時～15時
4月15日(火)	三条公園	岩園派出所北側
16日(水)	芦屋保健所	打出天神社前
17日(木)	山芦屋町12(中山宅西側)	津知公園
18日(金)	東芦屋公園	岩園保育所東側
21日(月)	芦屋市立図書館前(伊勢町)	芦屋病院西口バス停前
22日(火)	大原集会所	打出集会所(大東町)
23日(水)	奥池ハイランドバス停前10時～10時40分/奥池バス停前10時50分～11時30分	松浜町7-29西側
24日(木)	阿保親王塚南側	山手幼稚園北側
25日(金)	西浜公園	東浜公園

市民のひろば

芦屋への片想い

横浜市 望月 鏡子

今は様変わりしているが、山手小学校の正面に、祖父が昭和十年に建てた洋館があった。二階のバルコニーや、南東に大きく窓を取ったサニールームから見渡す芦屋の景色は美しかった。東は、松林や生け垣の間にレンガ色の瓦屋根が点在する松風山荘。その西には城山。広い芝生越しに見下ろす南は、薨の波の中、芦屋川がすみ、その先に陽を受けてキラキラ光る海があった。戦後六年もの間、この家も他の洋館たちも進駐軍に接収されていたが、石垣とつじの急な坂道の数々は、子どもたちにとって一種神秘的な遊び場だった。皆、ダブダブのお古に裸足、空腹を抱えてはいたけれど、遊び場だけはぜいたくだったのだ。

十八歳で東京に引越したせい、いつまでも阪神間の風景とのどかさが忘れられず、山手小学校の上級生である夫を巻き込んで、定年後のための中古マンションを探していた矢先の震災だった。被害が大きかった津知町付近が報道の中心だったので、山手側は助かったようだと話し合った私たちは、その後、全市にまたがる惨状を目の当たりにして声も出なかつた。子どもの時から見慣れた芦屋の象徴的建物(洋館)は皆消えてしまっていた。

文化的重要性も少ないので、東京をはじめ他府県の人々には名前くらいしか知られていない。「大正・昭和初期の実業家たちが趣向を凝らして建てた館が、そこに現存している美しい屋敷町」という存在価値を、県や市がもっと大切に考え、保存すべき建築物に財政援助をしていてもよかつたのではないだろうか。

三十年も前のことだが、ロータリークラブの交換学生として来日したアメリカ人を芦屋に案内したことがある。東京・愛知・岐阜の町を廻つて、芦屋の山手町の坂を登っている時、「何というラブリータウン！この町が一番好き」と歓声が上がったものだ。

声もあげずに消えてしまった芦屋や夙川のお屋敷たち。手元に震災二年前、芦屋で撮り歩いた古い家々の写真がある。こんな写真を撮っておられたかたは何人もあるに違いないから、震災前の芦屋の写真集を出版できないものかと話し合ったこともあるが、手も足も出ない。そんな折り、「芦屋文化復興会議」の旗揚げを知って、横浜から駆けつけている物好きなのと我ながら思うが、大好きな芦屋の建築遺産を残すために何かお手伝いできればと思う。写真集の出版も実現される日が来るかもしれない。

鳥に魅せられて

松浜町 結城 昱

「広報あしや」特に「再発見 芦屋の自然」は欠かさず拝見しております。私は最近バードウォッチングを始め、ときどき六甲山系の方に出かけます。

「芦屋浜の水鳥たち」の記事が載つたのと同じころ、私もフィールドスコープで観察していましたが、「ミミカイツブリ」だけはまだ見ておりません。

ご存知と思いますが、最近では市役所の庁舎前広場の木に「イカル」の群が、毎朝美しい声で鳴いています。芦屋川を歩いても、ツグミ、ホオジロ、ビンズイ(あるいはカヤクグリ)などを枯れた草木の中に観察できます。一度、そういう鳥の特集をしていただければと思います。

芦屋は北に六甲山系を控えているせいか野鳥の種類は多いようです。イカルはもとも里山の鳥で、都市部ではあまり見ることができませんが、市内の中心部で美しい声や姿が見られるのはうれしいことです。

ただ、本来の彼らのすみかが都市化によって狭められていることを忘れてはならないと思います。

(古市景一氏)



「フィーヒョーフィー」と澄んだ声で鳴くイカル

再発見 芦屋の自然

早春の黒岩谷を訪ねる —マンサクの咲く谷—

三月上旬、ようやく春の兆しが見え始めた黒岩谷を訪れました。目的はマンサクの花を見るためです。マンサクといえば土樋割にあるものがよく知られていますが、奥の黒岩谷にもたくさんこの木があるのを前から見つけていたので今年はずいぶん早く見たいと出かけました。

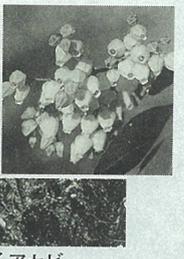
マンサクはまだ周囲が冬木立の中、鮮やかな黄色の花を開くので、



群がり咲くマンサクの花

「先ず咲く」が花の名に転化したとも言われ、春の訪れをいち早く知らせる春の使者です。黒岩第一砂防堰堤の高い崖道を越えて奥谷に下ると大きな断崖の下面を黄色に染める満開の花木が見られました。

その付近の谷全体に十数本は見られまじょうか、谷間に咲く、どこかほのぼのとした暖かみを持つた花に囲まれ、しばらく立ち尽くして



こぼれんばかりに咲くアセビ

ここも芦屋の秘境の一つだ。途次、土樋割付近では、これも早春の花であるアセビが白い花を鈴なりに咲かせていました。有毒植物で「馬酔木」と書きますが、古代から愛された花で、万葉集にもいくつかの秀歌が残されています。

大来皇女が刑死した大津皇子をしのんで詠んだといわれる「磯の上を生うる馬酔木を手折らめど見すべき君がありと云わなくに」(巻二・一六六、磯は岩の意)などは好きな歌の一つです。

蛇谷を登って行くとき、ヒメヤシャブシの細長い雄花の花穂がたくさん垂れ下がっているのに出会いました。側に小さな赤い雌花がちよんと付いているのがなんとも可愛い風情でした。花粉公害で非難を浴びている花ですが、自然の中の姿は憎めません。

また、日当たりの良い河原では、ようやく暖かさを増した日差しの中で、長い冬を乗り越えたヒオドシチョウが日なたぼっこに精を出していました。



越冬したヒオドシチョウ

わたしの伝言板

講演会・催しなど

【芦屋万葉集を読む会】

●日時…毎月第1土曜、10時～11時30分 ●会場…市民センター ●会費…月1500円 ●講師…濱口博章氏 ●連絡先…外島 (☎31-4520、19時以降)

【難聴者の会】

●日時…4月6日(日)11時～15時 ●会場…市民センター114室(要約筆記) ●連絡先…三木 (FAX:22-8382)

【子どものためのお話の世界—ライブラリーサロン—】

①お話の会 ●日時…4月2・16・23・30(水)、10時～12時 ●会場…図書館集会室 ●連絡先…深田 (☎22-8176)
②ミニ児童館 ●日時…毎週金曜、10時～12時 ●会場…図書館集会室 ●連絡先…三原 (☎34-8571)

【折り紙教室】

●日時…4月9日(水)10時～12時 ●会場…図書館集会室 ●持ち物…折り紙、はさみ、のり ●連絡先…段谷 (☎34-2546)

【市民ハイキング】

●日時…4月13日(日)8時15分、阪急芦屋川駅北広場 ●行き先…天王山 ●費用…600円 ●持ち物…昼食、雨具 ●連絡先…大山 (☎31-1923、夜間)

【やさしい哲学入門講座】

●日時…4月18日(金)13時～15時30分 ●会場…市民センター ●連絡先…村尾 (☎34-0029)

【戸塚刺しゅう芦屋地区作品展】

●日時…4月18日(金)～20日(日) ●場所…サロンモンテメール(6階) ●内容…作品展示とチャリティ販売(収益金を社会福祉協議会へ寄付) ●連絡先…舟橋 (☎22-7487)

【芦屋みどり福祉作業所】

①社会福祉セミナー ●日時…4月19日(土)17時30分～ ●会場…芦屋みどり福祉作業所 ●講師…芝拓哉氏
②バザー ●日時…4月29日(火、祝) ●会場…コープ打出浜店2階 ●バザー用品の提供をお願いします。 いずれも問い合わせは、芦屋みどり福祉作業所・大澤 (☎31-4001)へ

【ビーバースカウト】

●日時…4月27日(日) ●会場…精道小学校グラウンド ●内容…①体験入隊(幼稚園年長組以上、9時45分～12時) ②育成会園遊会(10時～15時) ●連絡先…河内 (☎23-0347)

【会員募集】

【21世紀あしや生涯学習の会】

●内容…地域へのボランティア活動を通して生涯学習を実践 ●連絡先…村尾 (☎34-0029)

【ちゃいるどモダンダンス教室】

●日時…毎週木曜、①15時～16

時、幼児②16時10分～17時30分、小学生 ●入会金…1000円 ●会費…月3000円 ●連絡先…高見 (☎34-2610)

【初級手話講習会】

●日時…4月23日から10月22日までの毎週水曜(25回)19時～ ●会場…福祉会館114室 ●定員…30人 ●連絡先…鈴木 (☎22-4916)

【中国語同好会】

●日時…月3回、水曜日18時～21時30分(初級・中級の2クラス) ●会場…市民センター ●講師…周学軍氏 ●会費…月約4000円 ●連絡先…田賀 (☎32-9166)

【あしや文学同好会】

●内容・日時…①古写本で読む竹取物語、第1月曜②東アジア史と日本、第2金曜③蕪村「夜半楽」の世界、第4月曜④近松曾根崎心中を読む、第4金曜、いずれも10時から11時30分まで ●会場…市民センター ●費用…1講座6カ月7800円(年会費1000円) ●連絡先…大塚 (☎0798-72-3851、夜間)

【芦屋ラグビースクール】

●対象…幼・小・中学生 ●練習日…毎週日曜、約3時間 ●会費…6カ月4000円 ●連絡先…山村 (☎31-7610)

【芦屋女声合唱団】

●日時…毎週水曜13時30分～15時30分 ●会場…市民センター音楽室 ●費用…月4000円、入会金2000円 ●連絡先…若林 (☎078-411-6788)